

飛騨医療連携学術講演会

—地域・僻地医療に根ざす薬剤師の役割とは—

【日時】 令和7年8月31日(日) 9時00分～12時30分

【場所】 飛騨・世界生活文化センター 大会議室

高山市千島町900-1 TEL 0577-37-6111

【参加費】 会員 500円 非会員 2,000円 学生 無料

(ただし県薬会員で単位不要の場合は無料)

【お問い合わせ】 須田病院 薬剤部 定岡邦夫 TEL 0577-72-2100

「東和薬品(株)の後発医薬品について」

東和薬品(株) 学術担当 様

開会の辞 飛騨市薬剤師会 会長 渋谷 孝之 先生

総合司会 下呂市薬剤師会 会長 下呂薬局 中川 正樹 先生

座長 名古屋市立大学 薬学部 東海臨床薬学教育連携センター
教授 鈴木 匡 先生

地域僻地医療に根ざす薬剤師は学生達からどう見たのか？

一般演題 ① (9:20～9:40)

「アドバンスト実習に参加して ～私が考える地域僻地医療に根ざす薬剤師の未来～」
名古屋市立大学 薬学部 6年生 三井 すずか さん

一般演題 ② (9:40～10:00)

「アドバンスト実習に参加して ～私が考える地域僻地医療に根ざす薬剤師の未来～」
名古屋市立大学 薬学部 6年生 原 あかり さん

一般演題 ③ (10:00～10:20)

「アドバンスト実習に参加して ～私が考える地域僻地医療に根ざす薬剤師の未来～」
岐阜薬科大学 薬学部 6年生 竹村 風太 さん

一般演題 ④ (10:20～10:40)

「インターンシップに参加して ～私が考える地域僻地医療に根ざす薬剤師の未来～」
岐阜薬科大学 薬学部 6年生 川端 大千 さん

◆総合討論 (10:40～11:10)

◆休憩 (11:10～11:20)

座長 帝京大学 薬学部 臨床薬学講座 薬効解析学研究室
教授 大澤 匡弘 先生

【特別講演】 (11:20～12:20)

「地域の希望となる薬剤師へ

～認知症とともに歩む精神科医療の最前線から～」

特定医療法人生仁会須田病院 院長 加藤 秀明 先生

閉会の辞 岐阜県病院薬剤師会 飛騨ブロック長 若田 達朗 先生

共催 岐阜県病院薬剤師会, 飛騨市薬剤師会, 下呂市薬剤師会, 東和薬品(株)
後援 高山市薬剤師会, 飛騨・世界生活文化センター, (一財)飛騨高山大学連携センター
単位 日病薬病院薬学認定薬剤師制度: 一般演題+総合討論+特別講演 (I-1) 1.5単位 申請予定
日本薬剤師研修センター研修制度: 1単位 申請予定